

2022. 9. 27

発行: 桜本保育園

044(288)2545

# えんだより 9・10がつ



台風が あちこちで おおきな 被害を 出しています。

みなさんの ご家族や しりあいは 大丈夫だったでしょうか？  
保育園は 園庭が 海のように なっていました。排水溝の ふた  
を開けると 音を立てて 流れていきました。  
台風の後には 空気が 冷たくなり 朝夕は 肌寒くなってきました  
が 昼間は まだ 暑さが 残っています。まだ 半袖が 必要です  
ね。

運動会が 近づき いつも たのしんでいる リズムやサーキット  
に 熱が はいってきています。おうちのひとが 見にくることが  
わかる 貸目さんや おとなの はりきりが 伝わってきます。  
今年は 4月から なかなか プンムの リズムが きこえて こ  
ないと思っていたのですが ふしぎですね。チャングや プック  
などの 楽器をもつと ずっと やっていたかのように  
「ドーンドーンドーンタッタ」と あわせて 奏でだす 貸目さん。  
その音に合わせて おどりだす 貸目さんの姿…。

保育園では リズム サーキット プンムを 一年間 通して  
取り組んでいます。体を 動かすことが 好きな子が そだつ  
環境を 大切にしています。やる・やらないは こどもたちが き  
めています。やらされることほど つまらないものは ないです  
よね。こどものきもちも いろいろ。きょう 参加しなくても 自  
で 学習し 耳で おぼえています。そして「こんど やろうね」と  
さそってもらえる 安心感が「きょうは やってみようかな」に  
つながります。

運動会では できたことではなく やってみたこと がんばった  
こと 参加したことを ころから よろこんで くださいね。  
じつは「できなかったこと」を おとなから 言われたり 笑わ  
れたりすると こどものころは すごく 傷つき 自信を 無く  
していくのですよ。「ママ・パパたちを 悲しませちゃった」って  
ね。こどもの世界は ママ・パパたちが 支配しています。ママ・  
パパ おとなの笑顔が こどもの 自信につながり「こんど や  
ってみよう」と 意欲が そだちます。

保育園のあいだの 成長は 木で たとえると 根っここの部分  
です。やわらかい 土の中で ぐんぐん 根を 伸ばしていきま  
す。でも 大人の 期待する「成果」は みえません。根っこが  
短いのに「成果」という芽ばかり もとめていくと 学校社会の  
なかで 経験する 風や 日照りに たおれてしまいます。

やわらかい土は わたしたち おとなの「がんばったね」  
「大丈夫 あした やってみよう」という 笑顔です。できないこ  
とや やりたくないことが おとなの笑顔で「やってみよう」に  
かわるなら 笑顔に 挑戦しませんか?! (y)

## 9月のよてい

- 9日 にじいろメニュー
- 21日 園児健診
- 22日 わくわくひろば
- 30日 にじいろメニュー

## 10月のよてい

- 7日 にじいろメニュー
- 8日 運動会

- からだづくりフェスティバル
- 19日 園児健診
- 20日 병아리・ちゅうりっぷ FJD
- 21日 にじいろメニュー
- 25日 ひとみ座 人形劇
- 27日 わくわく広場
- 28日 무궁화 FJD

新型コロナウイルスの健康観察期間が かわっています。

川崎市の 保育園の 登園停止期間

・感染した時

おとな・こども 7日間

・濃厚接触者になったとき

おとな 5日間

こども 5日間

(感染者と 隔離された状態から かぞえます)

※体調が悪くなった日が 0日

※登園・出勤していたあと 陽性になったとき みな  
さんに お知らせしています。

News・おしらせ・알림・balita

☆ あたらしいスタッフです。

よろしくお願ひします。



☆ 園庭の デッキが かわります。

コンクリートの上に耐熱シートをはったも  
のになります。スロープが ついて だれ  
でも らくに のぼり下りできるように なり  
ます。

## 「ともによろこぶ」

「18 そこで神は、ご自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。26 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」（コリントの信徒への手紙一12：18、26）

風を心地よく感じる初秋、猛暑の夏の暑さも和らぎ過ぎやすくなりましたね。自然は、コスモス、彼岸花、アメジストセージなど秋の花で彩どられています。花だけでなく、色とりどりのおいしくだものもたくさん収穫される、実りの秋、豊かさを感ずります。

しかし、台風も多くなりました。災害に遭われた方々も多くおられることと思います。回復をお祈りいたします。聖書に「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」（ヨハネ15:5）とあるように、一人ひとりがつながり助け合い、豊かな日々を過ごせますようにと願っております。

今年も、桜本保育園では楽しい音が響き渡っています。「音物놀이」を練習する音です。子どもたちが一生懸命に楽器をたたいている楽しい音の響きに心が躍ります。

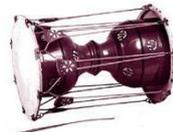
「音物놀이」は「農樂」とも呼ばれ、징 (チン)、꽝과리 (ケンガリ)、장고 (チャンゴ)、북 (ブク)、소고 (ソゴ) などをたたいて演奏します。古くから農村において、春には豊作を祈願し、夏には農作業の疲れを癒やし、また秋には収穫を祝うお祭りで、農業の営みとともに伝えられてきたと言われていいます。

また体の感覚をフルに使って、リズムに合わせて体を動かしながら楽器をたたいて演奏する「音物놀이」を子どもの遊びに取り入れることは、子どもの「運動機能」を高めるだけでなく、バランスのよい成長を促すのに効果があるのではないかと思います。一つ一つ違った楽器は、それぞれの音が合わさって一つの美しいハーモニーを奏でる、人と人のかかわりにも同じことが言えるのではないのでしょうか。

今月の聖書は、「一つの体、多くの部分」に例えて、対立を起こしているコリントの教会に、原点に立ち返り、一つの思いとなるようにと説いています。わたしたちの体は各部分が互いに配慮し合って健康を保つように、神さまは「ご自分の望みのままに」それぞれ違う一人ひとりを喜んでくださいます。お互いがお互いを大事にし、「共に喜ぶ」ことを望んでおられます。「みんな違ってみんないい」、みんなで共に喜ぶ実りの秋を迎えたいと願っております。（チャブレン 鄭富京）



꽝과리



장구



북



소고

### 9月のフォト

